

2022年度 シラバス

情報

教科 (情報の科学)

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～F組 (選択)
教科書(出版社)	高等学校 情報の科学 (数研出版)	副教材 (出版社) 等	事例でまなぶ プログラミングの基礎 (実教出版)

1 学習の到達目標

コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報ネットワークを構築するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1 学期	4	序編 情報とメディア	オリエンテーション	コンピュータ室の使い方を説明し、コンピュータに関する基礎知識を確認します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習による制作物 ・ プリント ・ ワークシート ・ レポート ・ サポートノート
	5	第2編 情報通信ネット ワーク	第1章 コミュニケーション手段の発達	情報通信技術の発達と社会の変化を学びます	
	6		第2章 インターネットのしくみ	インターネット技術のハードウェア、ソフトウェア両面から理解します。	
	7			情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法を理解します。	
2 学期	9	第3編 問題解決とコンピュータ	第1章 問題解決	問題解決と情報機器を用いての合理的解決を理解します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習による制作物 ・ プリント ・ ワークシート ・ レポート ・ サポートノート
	10	第4編 情報社会と情報モラル	第2章 問題の解決と処理手順の自動化	問題解決の技法と合理的処理手順を考案できる技術を学びます。	
	11		第3章 データベース 第1章 情報社会の問題点	データ処理の合理化のためデータベース構築と活用を学びます。	
	12		第2章 情報セキュリティの確保 第3章 情報社会における法と個人の責任	様々な情報サービスの利点と問題点について理解します。 情報サービスの問題点を踏まえてセキュリティと安全性の確保について学びます。	
3 学期	1	第4編 情報社会と情報モラル	第4章 情報システムと人間	人間にとって利用しやすい情報システムの在り方について考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習による制作物 ・ プリント ・ ワークシート ・ レポート ・ サポートノート
	2				
	3				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組みに関心をもち、問題解決においてコンピュータを効果的に活用しようとするとともに、情報技術を社会の発展に役立てようとする。
思考・判断・表現	問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための方法を工夫したり、結果を踏まえて改善したりするとともに、情報技術が社会に及ぼす影響を考える。
技能	問題解決においてコンピュータを効果的に活用するために必要な技能を身に付けて問題解決を行うとともに、情報通信ネットワークなどを活用して情報技術が社会に及ぼす影響を調べる。
知識・理解	コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組みを理解し、問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための科学的な考え方や方法を身に付けるとともに、情報技術が社会に及ぼす影響を理解している。

4 評価の方法

プリント・ワークシート、レポート、サポートノートなどの提出物の内容、学習活動への参加の仕方や態度などを鑑みて「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4観点を総合的に評価します。

5 メッセージ

(確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

- ・ 情報の科学は、情報社会に参画する態度を養成する科目です。必要と思われる知識や技術については事前に予習などしておくことが必要です。
- ・ 情報は他教科の基本となる教科です。常に他教科ではどのように活用できるかを考えて学習してほしいものです。そのような意識でのぞむことにより、他教科でも役立つさまざまな技術や考え方を身につけることができるようになることでしょう。
- ・ 情報の科学は教科書の内容を暗記する科目ではありません。実習では自ら手を動かし、授業では常に問題意識を持ちながら考えてのぞんでください。